

# 京都府 由良川

稲森 豊陽

京都府の北部を日本海側に流れ、上流に大野ダム、和知ダムがある。綾部市付近にはいくつかの堰があり、ヘラブナ釣りも可能だが、上流のふたつのダムの発電放水が毎日おこなわれ、昼前後には急激に水量が増し、流れが速くなる。したがって、放水の影響の少ない下流部が釣り場となる。

しかし、下流部は潮の干満による水位の上下があり、これも考慮に入れてポイントを定める必要がある。

釣れるヘラブナは40cm級の実績もあるが、尺上が標準で、兵庫県や岡山県の河川の釣り場に比べるとやや小さいが、護岸は自然のまま、周辺の環境は抜群である。

実績の多いのは大江町の下流の大雲橋辺りから下流で、京都縦貫道の下流の由良川大橋付近の間である。



型は尺前後で少し小型であるが自然のままの護岸が多く、環境の良さは抜群！





高津江バス停前に並んだ釣り人



美形! 由良川橋左岸で釣れた36cm



少し頭が大きめだが34.5cm

ポイントの多くは自然が残っており、野釣りが満喫出来る。流れのある所が多いが、藻が生えた流れの緩やかな所が絶好のポイントである。



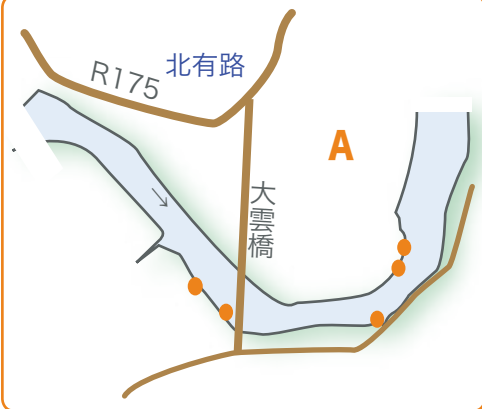
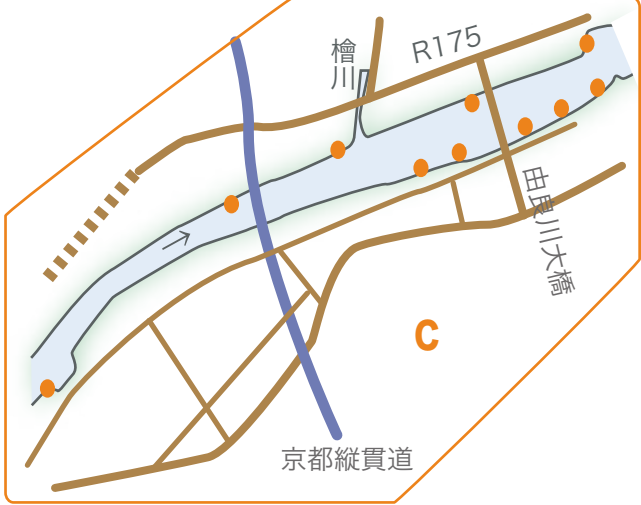
由良川橋左岸しも手。小さな船着き場の前後。流れが少なく、安定したポイント



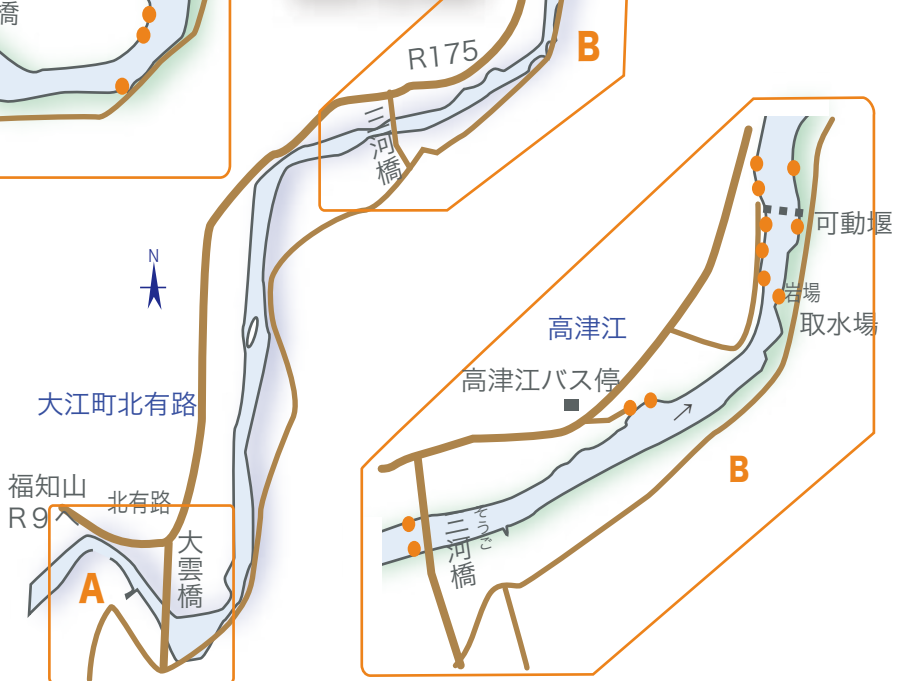
三河橋左岸かみ手。流れがあるが、実績のあるポイント



# 由良川ポイント図



## 由良川全体図



**A** 大雲橋の上流右岸と下流の両岸。三河橋の上下左岸。同じく左岸下の実績は少ないが38cm級の実績があり十分期待出来る。

□他にもポイントはあちこちにあるが、十分な調査が出来ていないのが現状である。

**C** 京都縦貫道の下から由良川橋の下流にかけての両岸。共に石積み護岸であるが水辺に降りると足場は良い。水深も3m前後あって川幅も広いので流れは緩やかで釣りやすい。40cm級も出る好場所だが、単調な水深からは川底の変化がつかみにくく、入念な床計りが釣果を分けるだろう。中でも左岸の京都縦貫道下と下流の船着き場は一番実績がある。

**B** 右岸の水道取水口の下流岩場、高津江の堰の護岸部と堰の下流部とその対岸。高津江の堰は、海の潮位が高い時に水道の取水口に海水が入らないようにする為のもの。潮位の高い季節だけ設けられるゴムの堰で、定期的な収縮を繰り返す。このため、堰の近くでは影響を受け流れに強弱が現れる。堰のすぐかみ手左岸はやや浅く、藻があり、安定したポイント。右岸は岩場で大型が出るがムラもある。堰のすぐ下流左岸は水深に変化があり、うまくポイントを探れば型、数共に出る。左岸、高津江バス停前のワンドは最も安定したポイントだが、やや型が小さく、尺前後が多い。三河橋かみ手は流れがあり、短竿で流れを避ける。38cm級の実績もある。

**B** 右岸の水道取水口の下流岩場、高津江の堰の護岸部と堰の下流部とその対岸。高津江の堰は、海の潮位が高い時に水道の取水口に海水が入らないようにする為のもの。潮位の高い季節だけ設けられるゴムの堰で、定期的な収縮を繰り返す。このため、堰の近くでは影響を受け流れに強弱が現れる。堰のすぐかみ手左岸はやや浅く、藻があり、安定したポイント。右岸は岩場で大型が出るがムラもある。堰のすぐ下流左岸は水深に変化があり、うまくポイントを探れば型、数共に出る。左岸、高津江バス停前のワンドは最も安定したポイントだが、やや型が小さく、尺前後が多い。三河橋かみ手は流れがあり、短竿で流れを避ける。38cm級の実績もある。